

---

# 憂鬱な日々

味噌汁

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

憂鬱な日々

### 【Nコード】

N9473A

### 【作者名】

味噌汁

### 【あらすじ】

クラスに馴染めず、憂鬱な日々を過ごす翔という少年が、転校生と出会いかわっていく模様を描きます。続きを書くまでかなり時間がかかります。すみません(。|。)(。|。)

## 崩壊（前書き）

あんまり、うまくできてないんで、勘弁してください

## 崩壊

今日も、朝がきた。

「はあ。今日も学校かあ。」

起床すると僕は必ずこの言葉を発する。なぜなら、学校がつまらな  
いからだ。

もう、2学期が始まるうとしているのにも関わらず、クラスに馴染  
めてないからだ。僕はあまり人が好きじゃない。それは、人はす  
ぐに人を傷つけ裏切るからだ。だから、僕はクラスメイトが話し  
掛けてきても

「ああ、はい……。」

くらいしか言えない。

ピーンポーン！家のインターホンが鳴った。

「おーい翔！遅刻するぞお！」

と声がした。

真一だ。こいつはしょっちゅうちょっかいを出してくるが、根は優  
しい奴だ。

「ああ。今行くよ。」

と言って支度をして家を出た。「なあ翔！今日は友達作れるよう  
に頑張れよ！なんかしらんが、お前のクラスにめっちゃカワイイ  
子が来るらしいぞ！」

と真一はテンションが、上がりっぱなしだった。

そして、学校に着いた。「えー。今日は転校生を紹介します。岡  
村 浩子さんです。」

と先生が言くと、ハイエナ（男子）達が騒ぎ始めた。

確かに、可愛いが、興味はなかった。なんたって、僕は一人が好き  
だから。しかし、ハイエナの矛先がなぜか僕の方に向いた。  
転校生の席が、僕の隣だったからだ。

「なあ。アイツ目立たないくせに、調子に乗りやがって。」

と、おかど違いな文句が聞こえてきた。

正直うざかったから、真一と変わってもらった真一はシャドーマンの異名をもっていて、僕以上に影が薄いため、男子は何も言わなかった。言えなかったと言った方がいいかもしれない。真一は一度キレて机を蹴っ飛ばしたからだ。そんなことはさて置き、転校生が次の瞬間、とんでもない事を言いだした。

「翔、久しぶり。なんで、席かわっちゃうの？昔は男子の批判なんて気にせずに逆らう奴は殴ってたじゃん。昔、付き合ってたでしょ？」

と訳のわからない事を言いだした。実際、僕は今より前の記憶が薄れていたのは分かっていたが、ホントに思い出せない。いったいこの女は誰なんだ！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9473a/>

---

憂鬱な日々

2011年1月9日14時54分発行